

早稲田大学 総合研究機構 教師教育研究所

2026年度 教育実践史セミナー

日本の戦後教育の歩み

～「資質・能力の育成」を基盤とする学習指導要領の成立への過程～

日時：2026年7月19日（日）13:00～17:00（開場・受付 12:30）
会場：早稲田大学 本部キャンパス 14号館 B101教室（定員200名）
参加費：無料 ※事前申し込みの必要はありません。直接会場へお越しください。
主催：早稲田大学 総合研究機構 教師教育研究所
共催：早稲田大学 教育・総合科学学術院

< 開催の趣旨 >

現在、文部科学省では次期学習指導要領改訂に向けての作業が進められています。戦後80年を経て、日本の学校教育はどのような歩みを経てきたのでしょうか。平成元年の改訂から今日までの転換の過程について、社会状況の変化、学校教育に対する各方面からの要請、学力低下等の批判、各種の学力に関する調査結果などを踏まえて、多角的に考察を深め、次期の学習指導要領の実施に向けて展望を得ることを期待しています。

◆ 講師紹介 ◆

田村 学先生 文部科学省 主任視学官

新潟県公立学校教諭、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官、視学官、國學院大學人間開発学部教授などを経て、2024年より現職。中央教育審議会等を通じて学習指導要領の改訂に深く携わってこられた。〈主な著書〉『授業を磨く』（東洋館出版社、2015）、『深い学び』（東洋館出版社、2018）、『学習評価』（東洋館出版社、2021）ほか多数。

< プログラム >

13:00 開会（講師紹介、日程説明等）
13:15 講演(90分) 田村 学先生
14:45 休憩(15分)
15:00 協議 ※参加者の感想や質疑
16:30 講師によるまとめの話
16:45 閉会(謝辞、諸連絡等)
17:00 終了

本セミナーでは、ご講演をもとに、フロアの皆様からのご質問やご意見をいただき、日本の教育のこれまでとこれからのについて議論を深めます。

【早稲田大学 総合研究機構 教師教育研究所】

所在地 東京都新宿区西早稲田1-6-1（教育学部 藤井千春研究室内）

◆ 本セミナーに関するお問い合わせ suzuki-ryota@tokyomirai.jp（早稲田大学 教師教育研究所 招聘研究員 鈴木 亮太）